

平成29年度「さいたま市子ども会議」について

1 「さいたま市子ども会議」のねらい

いじめの問題を子どもたち自らの問題として捉え、いじめが起きない学校をつくるために、各中学校区ブロックの小・中学校を代表する生徒（中学生）が一堂に会し、いじめのないよりよい学校づくりについて協議し、市内全域に、「いじめを許さない、見逃さない、起こさせない」という機運の醸成と定着を図るものです。

2 「さいたま市子ども会議」の開催の流れ

（1）中学校区ブロック会議①

5月25日（木）～7月28日（金）

各中学校区ブロックの小・中学校の代表が集まり、「さいたま市子ども会議」に向け、各中学校区ブロックにおけるいじめに関する現状について話し合い、いじめ撲滅に向けた各中学校区ブロックの取組を総括し、成果と課題を明確にしました。

（2）平成29年度「さいたま市子ども会議」

8月8日（火）さいたま市立教育研究所

各中学校ブロックで話し合われた内容を基に、

「自分たちの可能性を信じて」

をテーマにグループ討議、全体会を通して次の①、②について話し合いをしました。

① いじめをさせないために、「個々にできること」「みんなでできること」

② いじめが起きた時に、「個々にできること」「みんなでできること」

平成29年度「さいたま市子ども会議」の様子

- 教育長から、いじめ撲滅に向けての思いを伝えていただきました。



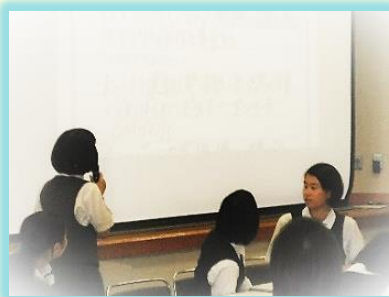
- 埼玉大学教育学部教育実践センター河野教授からは「多様性」を認めることの大切さについて講話がありました。



- 各グループ、8名～10名で話し合いを行いました。



- 全体会では、各グループの意見をまとめていきました。



(3) 中学校区ブロック会議②

8月8日(火)～9月29日(金)

「さいたま市子ども会議」「いじめ防止シンポジウム」の内容を各中学校区で報告するとともに、各中学校区ブロックで、小学校と中学校が連携し、具体的にどのような取組を行うかを話し合いました。

3 「いじめ防止シンポジウム」への参加

8月24日(木) 市民会館おおみや

さいたま市子ども会議の議長団7名が、「いじめ防止シンポジウム」で、さいたま市子ども会議の話合いの内容について報告を行いました。

報告の最後には、新たな決意で、いじめ撲滅に向けて取り組み、誰もが安心して過ごせる学校にしていくこと、自分たちの可能性を信じて、いじめ撲滅を目指して取り組んで行くことを発表しました。

